

知的障害児（者）への支援・取組にかかる海外事例 調査結果

1 調査対象国での知的障害児（者）の認定基準について

オーストラリア国内において障害を持つ方を支援する仕組み NDIS (National Disability Insurance Scheme) を運営する法定機関 国家障害保険機関 (NDIA: National Disability Insurance Agency) によると、広汎性発達障害の評価に精通した学際的な専門チーム、小児科医、精神科医または臨床心理士によって認定されます。

適応される基準については、DSM (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders) の最新の基準に基づき認定されます。

[\(List A: Conditions that are likely to meet the disability requirements | NDIS\)](#)

知的障害（以前は精神遅滞とも呼ばれていました）に関する DSM の最新の診断基準は、アメリカ精神医学会 (APA) の規定する Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders (DSM-5) です。DSM-5 では、IQ テストのみではなく、適応能力なども判断基準となります。

https://www.psychiatry.org/File%20Library/Psychiatrists/Practice/DSM/APA_DSM-5-Intellectual-Disability.pdf

2 調査対象国での知的障害児（者）（グレーゾーンを含む）への支援内容

ビクトリア州を含むオーストラリア国内では、知的障害者を含む障害者支援とサービスは NDIS (国家障害保険制度) を介して提供されています。 ([Disability supports and services contacts - DFFH Services](#))

中等度、重度、または深刻な知的障害と診断および判定された個人は、NDIS のサービスを受ける資格があります。

NDIS は認定された障害者に対して資金を提供し、家族や友人との時間を増やし、自立心を高め、新しいスキルや仕事、またはコミュニティでのボランティア活動に触れる機会を増やし、生活の質を向上させることを目的としています。さらに、NDIS は障害者をコミュニティ内のサービスに結びつけることも担っています。

これには、以下の要素が含まれます：

- 医師や地域団体との連携
- スポーツクラブとの協力

- 支援団体との連携
- 図書館との提携
- 学校との協力

また、各州政府や準州政府の支援情報の提供も含まれています。これにより、障害者は必要なサービスや支援を受けやすくなり、コミュニティ全体で包括的なサポートが提供されることとなります。NDIS の取り組みを通じて、障害者が社会参加し、充実した生活を送るための機会が拡大されています。（[What is the NDIS? | NDIS](#)）

NDIS サービス内容

NDIS 加入者が目標達成をするために合理的で必要不可欠なサービスや支援を利用するために資金援助を行います。

資金援助の内容は以下の 15 の項目に分類されます：

- 日常生活援助 • 交通 • 消耗品 • 社会、地域参加支援 • 補助技術 • 住宅改造
- 支援連携 • 生活環境の改善 • 社会参加とコミュニティ参加の増加
- 就職と仕事の継続 • 関係の改善 • 健康と福祉の向上 • 向上した学習
- 改善された人生選択 • 改善された日常生活

これらの分類は、加入者が自身のニーズや目標に合わせて、適切なサポートを得るための包括的なガイドとなります。各項目は異なる側面に焦点を当て、加入者がより充実した生活を築くために必要なリソースやサービスを提供することを目的としています。（[Supports and services funded by the NDIS | NDIS](#)）

3 調査対象国において、知的障害児（者）（グレーゾーンを含む）が「犯罪加害者」にならないための支援の担い手には、どのようなものがあるか。また、それぞれの担い手が、どのような役割を果たし、どのような支援を行っているか。

調査の範囲内において、調査対象のビクトリア州内では知的障害児（者）（グレーゾーンを含む）が「犯罪加害者」にならないための支援についての記載はございませんでした。

また、民間の障害者支援団体である ACSO は、刑事司法制度に関与するか、または関与の危険性のある知的および認知障害のある個人を対象に、ビクトリア州全域で様々な司法制度に基づく住宅プログラムを実施しています。ACSO は更正命令、監視命令、仮釈放命令、監

視付き治療命令の対象となる適格な NDIS および非 NDIS 利用者、および併存疾患を持つ利用者をサポートすることを専門としています。ACSO は成人プログラムだけでなく、若年および初犯者のための居住プログラムも運営しています。 ([Residential & Outreach Services | ACSO](#))

4 調査対象国において、知的障害児（者）（グレーゾーンを含む）の福祉と 刑事司法の連携の制度が存在しますか。存在する場合、その制度の内容について教えてください。

ビクトリア州においては PDSI (Prison Disability Support Initiative) という刑務所に収容されている障害者（身体的な障害を除く）を支援するためのサービスがあります。

PDSI はビクトリア州の刑務所に収容されている障害者を支援するために強みを中心としたアプローチを用いる新しい障害者支援サービスです。支援は障害者と連携する刑務所のスタッフや他の関係者も対象となります。PDSI の多部門の専門家からなる支援チームは個々の障害者と協力し柔軟に対応します。また、個々の障害者のニーズに合わせて提供される支援は刑務所ごとの特性も考慮しています。

PDSI の全体目標はポジティブな行動変化を促進し、適切な社会復帰を支援することです。

PDSI の目的は以下のとおりです。

- ・ 刑務所に収容されている障害者の更生を支援し、再犯率を低減する。
- ・ 刑務所の職員及びその他の関係者の知識と技能を向上させ、障害を持つ収容者を効果的にサポートする。
- ・ 障害を持つ収容者の複雑なニーズを特定しやすくする。特に認知障害や心理社会的な障害を持つ収容者に焦点を当てる。
- ・ 障害を持つ収容者が NDIS を含む支援サービスを受けられるように支援する。
- ・ 障害者の行動を認識し、最も制約の少ないポジティブな行動支援の原則を利用して長期的な行動変化を促進する。

<https://disability.royalcommission.gov.au/system/files/exhibit/VIC.0005.0502.0780.pdf>

PDSI の支援内容

PDSI は、「サービスストリーム」と呼ばれる、的を絞ったさまざまな障害者支援サービスを提供しています。それぞれのストリームは、異なる障害ニーズに対応しています。サービス利用者は1つまたは複数のストリームの支援を受けることができます。サービス利用者のストリームが時間とともに変化することもあります。その際、行動やリハビリテーション、社会復帰のためのニーズが変化するためです。

PDSI のサービスストリームは以下の通りです：

ストリーム 1：NDIS を含む障害者支援サービスを利用するための支援。

ストリーム 2：専門的な臨床評価、例えば神経心理学的評価や機能能力評価。これは診断を確定することや、プログラムやサービスの対象資格を判断するために必要なことがあります。

ストリーム 3：機能行動評価とポジティブな行動支援計画の作成と実施。これは障害者の複雑な行動を理解し対処するための支援です。

ストリーム 4：サポート、ガイダンス、または助言を提供するための1度限りもしくは継続的な臨床的コンサルテーション。

その他、拘留中など司法制度に関与している場合※においても、NDIS の利用登録または、利用を継続する権利があります。

<https://ourguidelines.ndis.gov.au/how-ndis-supports-work-menu/justice-system>

※以下の場合、司法制度に関与しているとみなします：

- ・ 刑務所、拘置所、少年院、または安定した精神保健施設などで拘束されている
- ・ 拘置中、判決を待っている、または判決後
- ・ 裁判所の命令により、定期的に矯正機関や地域矯正機関に報告する必要がある（たとえば、保釈、仮釈放、または執行猶予）
- ・ 社会奉仕活動命令を受けており、または療養休暇命令または治療休暇中にある
- ・ 移動制限や薬物検査、指定治療への出席などの要件が含まれる法的な命令に基づいている

以下はニューサウスウェールズ州から資金を提供され活動している民間団体の事例です。

知的障害者人権サービス（刑事司法支援ネットワーク）

IDRS (Intellectual Disability Rights Service) は、NSW 州在住の知的障害やその他の認知障害を持つ人々のための無料サービスです。このサービスは、NDIS の対象者でなくとも利用することが可能です。IDRS は、認知機能障害者の権利を促進し、保護するために活動している団体です。 ([Welcome to IDRS - IDRS](#))

また、IDRS が実施する刑事司法ネットワーク支援として、警察署や裁判所などで法的支援が必要な場合に、自身の権利を理解、行使するための支援や法的なアドバイスを与え、さらに自身の主張を伝えることや状況、結果の理解するための支援をします。

<https://idrs.org.au/jas/about-jas/>

5 調査対象国において、知的障害児（者）（グレーゾーンを含む）が仮に「犯罪加害者」になってしまった場合、矯正施設（刑務所等）を退所した知的障害児（者）の支援に特化した入所型施設は存在しますか。存在する場合、その支援内容について教えてください。

調査の範囲内において、ビクトリア州内における現存する入所型施設は確認できませんでした。

なお、クイーンズランド州内に Forensic Disability Service (FDS) という刑事告発をされた知的障害児（者）の支援に特化した入所型施設が存在します。

支援内容としては日常生活に関係するリハビリテーションとスキルの向上を目的としたサービスを実施しています。

[Forensic disability service | Office of Public Advocate \(justice.qld.gov.au\)](#)